様　式　Ｆ－７－１

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）実施状況報告書（研究実施状況報告書）(平成２７年度)

1．機関番号　３２６０４

2．研究機関名　大妻女子大学

3．研究種目名　若手研究(B)

4．補助事業期間　平成２７年度～平成３０年度

5．課題番号　１５Ｋ１６７２５

6．研究課題名　台湾ニューシネマとそれ以降の台湾映画における「日本時代」表象研究

7．研究代表者

研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名
００５１０６５３	アカマツ　ミワコ 赤松　美和子（佐藤美和子）	比較文化学部	准教授

8．研究分担者

研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名

9．研究実績の概要

本年度の研究課題「台湾ニューシネマとそれ以降の台湾映画における「日本時代」表象研究」の研究成果は以下の通りである。
（1）研究成果の公表：10月に、日本現代中国学会2015年度全国学術大会において、分科会「台湾文学・映画における日本表象と日本文学における台湾表象の相互性」を企画者として企画し、「戦後台湾映画における日本時代表象」と題して発表した。本発表の一部は、大内憲昭・渡辺憲正編著『東アジアの政治と文化――近代化・安全保障・相互交流史』（明石書店、2016年3月）に、論文「一九六〇年代の日台合作映画製作の背景および「日本時代」と「抗日戦争」表象」として掲載した。さらに、所澤潤・林初梅編著『台湾のなかの日本記憶 戦後の「再会」による新たなイメージの構築』（三元社、2016年3月）に、論文「現代台湾映画における「日本時代」の語り ―『セデック・バレ』・『大稲テイ』・『ＫＡＮＯ』を中心に」を掲載した。また、3月26日に台北駐日経済文化代表処台湾文化センター において、「金門島にかける橋」上映会を開催し、「台湾映画における日本表象―1960年代を中心に」と題して講演した。
（2）資料・書籍の購入と分析：本年度は、科学研究費助成事業を利用して、台湾映画における「日本時代」表象に関わる資料や研究書及びＤＶＤを購入した。現在これらの資料や先行研究の分析を順次進めている。
（3）資料の調査・収集：8月と3月に台北の国家電影中心や、国家図書館で、関係資料の調査・収集を行なった。また、現地の研究者に貴重な資料を提供していただくとともに意見を交換するなど、大きな収穫があった。

（注）・印刷に当たっては、Ａ４判（縦長）・両面印刷すること。